

ハンガリー学会第3回研究大会・総会

2014年12月13日（土曜日）10:00-17:00

於 関西外国語大学 中宮学舎 本館2階 多目的ルーム

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 ☎(072)805-2801 (代)

<http://www.kansaigaidai.ac.jp/>

当日会費：¥1,000（資料費等）

10:00-10:10 開会の辞

10:10-11:00 研究発表①池田哲郎（京都産業大学教授）

『16-17世紀のハンガリー・オスマン関係 その言語学・文献学的考察』

11:00-11:50 研究発表②先浜和美（博士（文学））

『ジトヴァトロク条約とブダのアリ・パシヤ』

11:50-12:50 昼食・理事会

12:50-13:20 総会

13:20-14:10 研究発表③石本礼子（ウラル学会理事）

『ベトレン・コッレーギウムとケーレシ・チョマ・シャーンドル』（仮）

14:10-15:00 研究発表④三苫民雄（愛知産業大学短期大学教授）

『ハンガリー法哲学派の思想史的意義—プルスキからビボーまで—』

15:00-15:10 休憩

15:10-16:00 研究発表⑤神原ゆうこ（北九州市立大学准教授）

『配慮の語りと共生の語りのジレンマ—南部スロヴァキア民族混住地域における「ハンガリー系マイノリティ問題」に関する文化人類学的考察—』

16:00-16:50 研究発表⑥荻野晃（長崎県立大学教授）

『ハンガリーのオーストリア国境の開放(1989)—東ドイツとの交渉を中心に』

16:50-17:00 閉会の辞

懇親会（別会場）